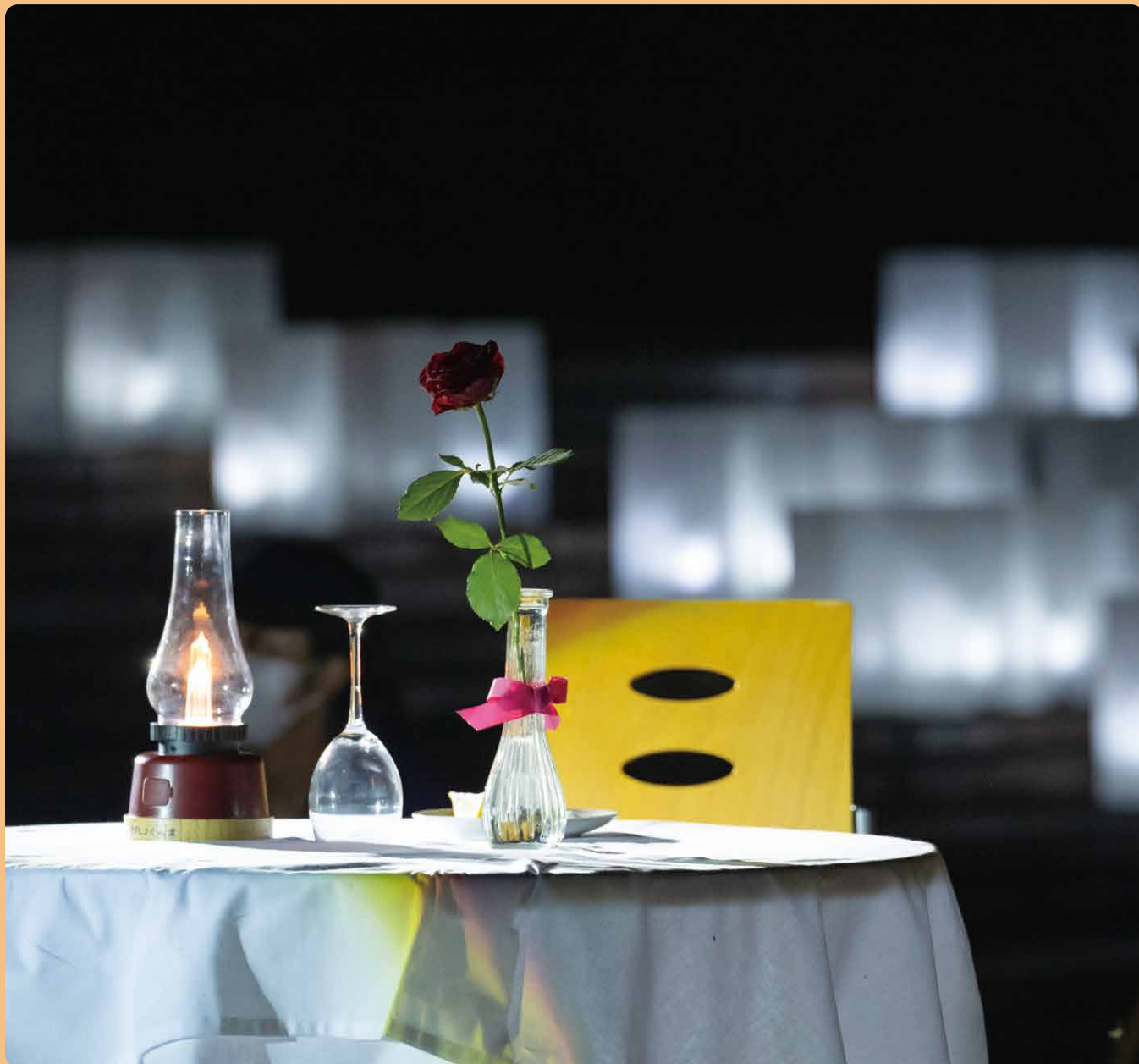


# 健やかぐんま

sukoyakagunma

vol.46  
2024 Autumn



P2-5

## リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 ぐんま 開催報告

P6-8

## 財団からのお知らせ

- 複十字シール募金活動を行っています
- 群馬県健康福祉部長を表敬訪問しました
- 群馬県地域保健研究発表会を行います
- 健康づくり研究助成「あさを賞」を募集しました
- 施設見学、インターンシップ、職場体験を受け入れました
- 新規採用職員の紹介
- 2024年度第34回ぐんまマラソンに協賛しました
- がんアカデミーサミットに出展しました



# リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま

## 開催報告

## ぐんまからのメッセージ

(RFLJ2024 ぐんま 10.13 閉会式より)

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやそのご家族を支援し、がん征圧を目指すチャリティイベントです。

「がん患者は24時間、病気と向き合っている」という想いを共有し、ともに歩き語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこのイベントは、現在、世界34か国、約2,460か所で開催。日本では現在約50か所で開催されています。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまは、2013年に初めて開催されて以来、参加者、寄付額ともに日本有数の規模に成長してきました。

12回目となる今年は、夜越えのイベントとして10月12日(土)～13日(日)に皆さんとALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドにて歩みを共にすることができました。今年は新たな試みとして、サバイバーズテントでドクター講座を行うなど、ドクターとサバイバーが交流できる機会を増やし、がんについて正しく学べる場を設けました。

仲間と「つながり」、ウォークを「つなげて」、未来へ想いを「つなげる」イベントになりました。

昨日、今日と、たくさんの方々にお越しいただき。今年もこのリレーイベントを夜越えで開催することができ、心から嬉しく思っています。

こうしてまた夜越えのリレーイベントを開催できたのは、家族や仲間、医療従事者の方々、実行委員会の皆さん、ボランティアの学生の皆さん、そしてチームとして、個人として参加いただいた、たくさんの仲間の皆さんのおかげです。

ひとりひとりの心の中の気持ちや願いは目に見えませんが、「がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい」という、ここにいる皆さんの共通の願いは、こうして「リレー・フォー・ライフ2024ぐんま」という大きなイベントとなって、このようにハッキリと目に見えるカタチとなりました。

リレー・フォー・ライフは、サバイバーとケアギバーの想い、それを支えるたくさんの人たちの想いがひとつになって、がん征圧に向けて声を上げ、社会へ発信できる活動です。

皆のこの声を群馬から日本全国へ、そして世界中に広げていきましょう。

RFLJ ぐんま実行委員会



# リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま イベントレポート

10月11日(金)

ちょっとしたハプニングもありましたが、コースづくりが無事完成し、テントやステージもできました。



多くの学生ボランティアがRFLJぐんままで活躍してくれます

10月12日(土) 14:00

「秋晴れ」という言葉がぴったりの日になりました。風もなく穏やかなグラウンドに、昨年より多い73チームの参加者が各チームののぼり旗や横断幕を持って整列しました。大島RFLJぐんま実行委員長の開会宣言で、RFLJ2024ぐんまの幕が開きます!



14:15

リレーウォークはがんを経験されたサバイバーの皆さんのサバイバース



ウォークから始まり、今年もこの会場に集まったことを皆で喜び称え合います。学生ボランティアや参加チームからの拍手やおめでとうの掛け声に包まれて、歩みを進めます。サバイバースウォークの後は小川前橋市長をはじめ役員

の皆さんにバトンタッチして全体ウォークが始まりました。



14:45

ステージではボランティアで駆けつけてくれた皆さんが、様々なショーでウォークする方を元気づけてくれます。心に響く音楽や、勇気の出るショーで参加者も大盛り上がりです。



財団啓発テントのイベントとして子宮頸がん検診車を展示しました

15:15/16:30

今年はドクター講座として、群馬中央病院の内藤院長と群馬県立がんセンターの柳田院長がサバイバーステント内で講演してくださいました!先生のお話を聞こうと、多くの人がテントに集まり講演に耳を傾けました。



17:30

日が落ち始めた頃、会場の皆さんと一緒にルミナリエに灯をともしました。ろうそくの灯で浮かび上がるルミナリエのメッセージは温かさと一緒に、希望を私たちに与えてくれます。



18:30

すっかり日が落ちた中、エンプティテーブルセレモニーが静かに始まります。白いクロスが掛けられたテーブルを囲み、今日ここに来ることができなかった方を思い偲びます。

会場にいるそれぞれの方が、大切な方に祈りを捧げます。



19:00

エンプティテーブルセレモニーが終わると、夜越えに向けてのウォークが始まります。明日の朝、高く昇る日を目指して歩き続けます。



10月13日(日)

6:30

澄んだ空気の中、きれいな朝日が昇り始めました。すがすがしい空の下、ラジオ体操が始まります!新鮮な空気を吸い込み2日目のウォークに向けて気合を入れます。



キッズコーナーでは子供たちもおおはしゃぎ

7:30

2日目のステージは、笑いヨガに続き佐藤病院の熊倉みなみ先生の朝ヨガ、群馬県バトン協会の演技で幕を閉じました。パワーチャージして残りのウォークを歩き切ります。ステージ出演の皆さま、会場への勇気・癒しをありがとうございました。



10:00

最後の一周であるファイナルラップを歩き切り、武藤副実行委員長がぐんまからのメッセージを発信しました。来年も笑顔で集まりましょう!



## 複十字シール募金活動を行っています

結核を中心とした肺の病気をなくし、健康で明るい社会をつくるために実施している「複十字シール運動」は、募金活動を行うとともに、病気への理解を深め、予防の大切さを伝えています。

2023年度の複十字シール運動で群馬県内において寄せられた皆様の募金額は2,736,115円に達しました。お預かりした募金は、胸の病気の普及啓発、発展途上の結核対策支援、結核等の調査研究の活動に大切に活用させていただきます。

2024年度も複十字シール運動が実施されますので、引き続き複十字シール運動にご協力をお願いいたします。

- **運動期間：**  
令和6年8月1日～  
12月31日  
(運動期間以外も募金を受け付けております)



## 健康づくり研究助成「あさを賞」を募集しました

今年度も県内行政機関、健康福祉機関・団体・試験・研究所、県医師会等技能団体、大学などを対象に、健康づくり研究助成「あさを賞」の募集を行いました。「あさを賞」は前橋市内で小児科を開業していた<sup>あさを</sup>巨尾雅子医師が保健福祉に役立てたいと私財を投じて、1987年に基金を設立したのが始まりです。

県民の健康増進、疾病予防対策等に役立つものとして選考委員会が認めた研究課題に対して助成を行い、現在までに241の研究課題が選出されています。

選考委員会は12月中に開催する予定です。



## 施設見学、インターンシップ、職場体験を受け入れました

群馬県健康づくり財団では、大学生や高校生の施設見学やインターンシップ、中学生の職場体験学習の受け入れを実施しています。今年度はこれまでに、7校54人の受け入れを行いました。医療系の専攻のみではなく、農学部や商学系高校の受け入れもしています。

冬にも実習や施設見学が控えていますが、多くの事を吸収していただくと嬉しいです。



- |                               |                                  |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 5/13～5/17<br>パース大学            | 8/19～8/23<br>高崎健康福祉大学 農学インターンシップ |
| 6/3<br>群馬大学 3年生実習             | 9/10～9/12<br>桂萱中学校 職場体験          |
| 6/14<br>群馬大学 チームワーク実習         | 10/8～10/10<br>芳賀中学校 職場体験         |
| 6/21<br>群馬大学 ワシントン大学交換留学生施設見学 | 10/16～10/18<br>大胡中学校 職場体験        |
| 6/24～6/28<br>群馬大学 医学部5年生実習    | 10/22～10/25<br>前橋商業高校 インターンシップ   |

## 群馬県健康福祉部長を表敬訪問しました

複十字シール運動開始にあたり、令和6年8月1日(木)群馬県地域婦人団体連合会(結核予防婦人会)の大竹会長のほか、役員と財団職員が群馬県健康福祉部中島部長を表敬訪問しました。

複十字シール運動の趣旨や県内の結核の現状などを説明するとともに、キャンペーンで配布するグッズをお渡しし、複十字シール運動への御協力をお願いしました。



## 群馬県地域保健研究発表会を行います

群馬県地域保健研究発表会は、研究発表を通じて保健衛生の向上を図り、県民の健康増進に寄与するため、また保健従事者の交流を目的として、毎年群馬県と財団が主催しているものです。今年度は下記のとおり開催することが決定しました。各関係機関にご案内を送付しますので、ぜひご応募ください。

日時：令和7年3月6日(木) 13:00～17:00 予定  
会場：群馬県庁 29階 291会議室



## 新規採用職員の紹介

令和6年8月、2名の新規採用職員を迎えました。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①名前(職種) ②座右の銘 ③「これだけは人に負けない!」とアピールできるもの ④ひと言(今後の抱負など)

- ① 羽柴 汐莉 (事務)
- ② 「臥薪嘗胆」
- ③ やると決めた時の集中力
- ④ 1日でも早く業務を覚え、皆様に貢献出来るよう努めてまいります。



左：羽柴 汐莉さん、右：高橋 里奈さん

- ① 高橋 里奈 (事務)
- ② 今が一番若い
- ③ ご飯をおいしそうに食べること
- ④ 健康づくり財団の一員として健康第一で、組織に貢献できるよう努めていきます。

## 2024年度第34回ぐんまマラソンに協賛しました

令和6年11月3日(祝・日)、正田醤油スタジアム群馬をメイン会場に行われた第34回ぐんまマラソンに協賛、ブース出展を行いました。

ブースでは、無料の血管年齢測定と脳年齢測定のほか、お子様連れの家族にも楽しんでいただけるよう子供向けの健康クイズを実施しました。リーフレットを手渡し、マラソン参加者、来場者にがん検診の定期的な受診も呼びかけました。

また、当財団からは22名の職員やその家族が各種マラソンに出場し、汗を流しました。



## がんアカデミーサミットに出展しました

令和6年10月5日(土)、群馬大学昭和キャンパス(重粒子医学センター、刀城会館)で開催された第2回がんアカデミーサミットにブース出展しました。

子宮頸がん、乳がん検診の啓発パネルの展示や、RFLJ2024 ぐんま開催前であったため、ルミナリエの作成イベントを行いました。当日は財団出展ブースの他に、重粒子医学センターの見学会や、アピアランスケアの展示、がんに関する講演があったため、がん治療に関心を寄せる多くの人に話を聞いていただくことができました。

特にパネル展示については、話題の子宮頸がんについて掲載してあるため、たくさんの人が足を止めてくれました。



### 編集 後記

大人になると味覚が変わるとよく聞きますが、確かに昔より癖のある食べ物や香辛料に興味が出てきました。特にここ数カ月、以前食べたことがあるシンガポール料理の肉骨茶(バクテー)を食べたい気持ちがすごく高まっています。おいしいバクテーが食べられるお店を知っている方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えてください!「医食同源」今後も食事を楽しみながら健康を保ちたいです。(H)

